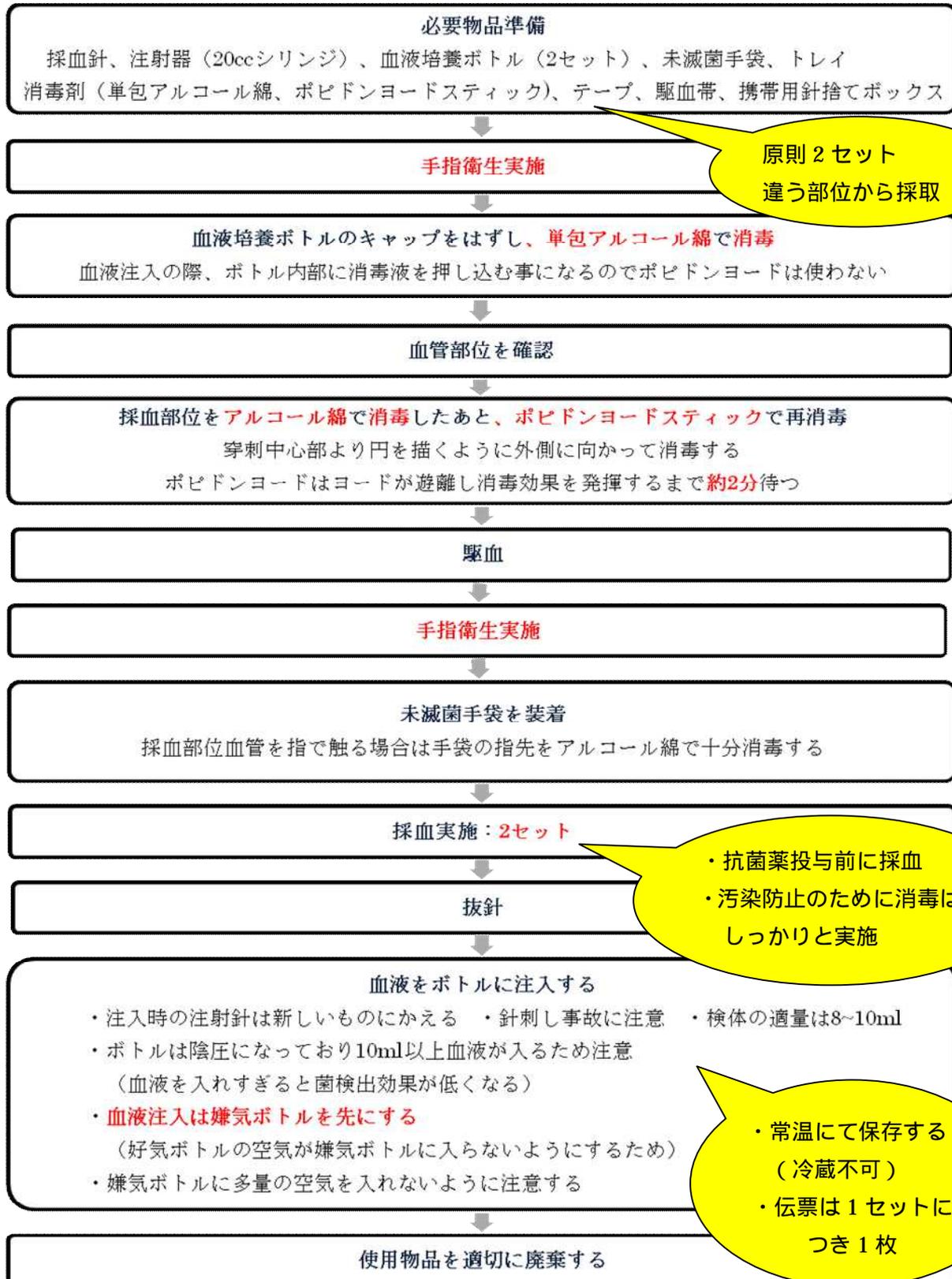




第1回院内感染対策講習会が6月25日に開催されました

4つの講演内容から「**血液培養手順**」再掲します



原則2セット
違う部位から採取

・抗菌薬投与前に採血
・汚染防止のために消毒は
しっかりと実施

・常温にて保存する
（冷蔵不可）
・伝票は1セットに
つき1枚

食中毒や感染性胃腸炎が起こりやすい季節です

予防のポイントを守り、感染防止に努めましょう



Point !



1、手 洗 い

ふだんなら擦式アルコールでの消毒で十分ですが、手に汚れがついているかも…と思う時は、流水での手洗いをしましょう。手洗い手順の貼り紙をみながら、きちんと手が洗えているかチェックしましょう。

2、食中毒や感染性胃腸炎患者様への対応



下痢時や嘔吐時の吐物等の処理(ノロウイルスの疑いのあるとき)

1 準備するもの

使い捨ての布かペーパータオル バケツ ポリ袋 拭きとり用の水
消毒液(次亜塩素酸ナトリウム 0.1%液)

〔 病院用ハイター(6%)もしくはキッチン用ハイター(5%) = キャップ1杯 20ml + 水1L
ミルクポン(1.1%)100ml + 水1L 〕

- 2 手袋、マスク、エプロンの着用。
- 3 布か紙を汚れの周囲から拭きとり、内側におりこむようにぬぐい取り、すぐ袋に入れる。
- 4 消毒液をしみこませた布か紙で、汚れをふき取ったところを清拭し、すぐ袋に入れる。
- 5 10分ほどしたら水拭きし、すぐ袋に入れる。
- 6 拭きとった布や紙を入れ終わったら、しみこむ程度の消毒液を袋に入れて、口を固くしばる。家では燃えるごみにだす。病院ではハザード印の袋に入れて感染性廃棄物のゴミ箱に入れる。

* 乾燥するとウイルスは容易に空中に漂うので注意。

環境の消毒

- 1 吐物汚染がある場合、ドアノブ、ベッド柵、床頭台、日用品など次亜塩素酸ナトリウム 0.1%液で拭き、その後水拭きする。
- 2 吐物汚染がないところは、清拭用アルコールクロスで拭きとるように清拭する。
- 3 必ず手袋やマスクを着用し、前後の手洗いを実施しましょう。



下痢時や嘔吐のみられる患者様にも、流水による手洗いを指導しましょう。
ポータブルトイレを使っておられる患者様には、手指消毒のケアを忘れず行いましょう。